

第 202 号

発行所 新潟市中央区新光町 15-2
 新潟県公社総合ビル内
 公益財団法人 新潟県危険物安全協会
 TEL 025-285-3490
 発行者 理事長 中西 一 則
 編集者 業務執行理事 山崎 俊 雄
 印刷 (株)ハイングラフ

平成29年度第2回理事会を開催いたしました
 ～平成30年度事業計画案・収支予算書案の承認、平成30年度臨時評議員会の招集ほか～

3月13日(火)新潟市において平成29年度第2回理事会を開催いたしました。

「平成30年度事業計画案」、「平成30年度収支予算案」などを審議していただき、提案議案全てが承認可決されました。

以下に、平成30年度事業計画等の概要をお知らせいたしますので、引き続き協会事業の円滑な実施に御理解と御協力をお願い申し上げます。

提案議題

- 第1号議案 平成30年度事業計画案の承認について
- 第2号議案 平成30年度収支予算案の承認について
- 第3号議案 平成30年度臨時評議員会の招集について
- 第4号議案 総務運営委員の委嘱について
- 第5号議案 事務局長選任の承認について
- 第6号議案 規程の一部改正について

第1号議案 平成30年度事業計画案の承認について
 1 平成30年度運営方針

県内の危険物施設の事故件数は、平成25年から3年間は概ね30件前後で推移してきたものの、平成28年は36件と増加しましたが、平成29年は32件(速報値)で再び減少しました。

危険物に起因する災害の防止を目的としている当協会としては、講習事業や教育広報事業を充実させて安全管理体制や危険物取扱者の資質を向上させ、事故防止を通じて社会公共の安全に寄与していくこととします。

事業の実施にあたりましては経費の節減に努めるとともに、理事会、評議員会等の各機関が法の規定に則り期待される役割を適切に果たして、諸事業を

円滑に実施するよう図ってまいります。

なお、賛助会員の募集を継続するとともに、各地区支会の協力を得て未加入事業所の加入促進を図ります。

2 事業計画案の概要

(1) 公益目的事業

ア 受験準備講習事業 (日程等の詳細はP8参照)

「危険物取扱者」の資格保有者が増えることは、危険物に起因する事故の防止及び安全の確保に直接つながると考えており、乙種第四類の受験予定者を対象として受験対策に重点をおいた講習会を開催します。

なお、従来通り1日講習、土日開催、主要都市での夏休み中開催を継続し、受講料は据え置きとします。

また、申込み方法は、往復ハガキによる申込み又は電子メールによる申込みの二方法で受講者の便宜を図ります。

受講見込み数は、平成29年度と実績よりやや少ない590人と見込みます。

なお、上越漁協からの要望を受け、丙種受験者向けの講習会を5月12日に開催します。

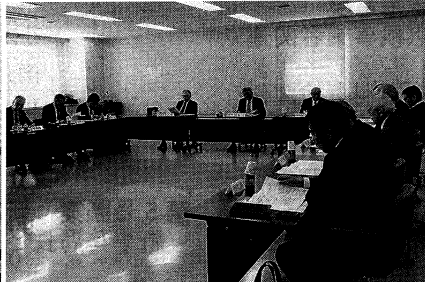
	平成30年度計画	平成29年度
開催地	7地区	7地区
実施回数	15回	15回
受講者数	590人	615人

イ 危険取扱者保安講習事業 (日程等の詳細はP7参照)

危険物製造所等で危険物を取り扱っている危険物取扱者に義務付けられている保安講習は、引き続き新潟県から委託を受け講習会を開催します。



中西一則理事長挨拶



理 事 会



渡部副理事長、中西議長、北原副理事長

《 当協会のホームページで講習の受付状況等について速やかにお知らせしています。 》
 お申し込みの参考にしてください。

受講申込者の見込み数は、この講習の受講義務が3年毎ですので、平成27年度の実績(5,203人)やこの周期の過去3回の実績(平均5,178人)及び申請者数の漸増傾向にあることを考慮しつつ、5,200人と見込みます。

また、降雪の影響がある冬季の開催は例年同様に2月の新潟のみとしました。

なお、上越開催のコンビナート講習は会場定員の関係から1回追加しました。

		平成30年度 計画	平成27年度 実績	平成29度 実績
開催地		13地区	13地区	14地区
実施回数	一般(その他)	37回	37回	38回
	給油取扱所	6回	6回	6回
	コンビナート	7回	6回	6回
	合計	50回	49回	50回
受講者数		5,200人	5,203人	5,222人

ウ 教育広報事業

危険物の安全管理体制の確立と危険物取扱者の資質向上を図るため、各種の情報提供及び研修会を開催します。

① 機関紙「協会だより」の発行：年3回

協会の事業実施状況や県からの保安情報等を掲載した「協会だより」を発行し地区支会・地区協会会員へ各種の情報提供等を積極的に行います。

② 事故事例の発行：年1回

事故情報を共有し同種の事故の発生を防止するため、県の監修を得て、県内及び全国の事故事例を選択し、事故原因やその対策等のコメントを示した事例集を作成し、地区支会・地区協会会員に配布します。

③ 危険物実務研修会の開催：2か所

危険物取扱者の保安意識の向上を図るため、県内外の有識者の講演を聴講する研修会を新潟県危険物事故防止連絡会との共催で、新潟市及び上越市で開催します。

④ ホームページ等の活用

一般県民による危険物の取扱上の事故等の減少を図るため、ホームページ等を活用して、ご家庭での危険物の取扱上の留意点等の啓発を行います。

エ 危険物安全管理運動事業

危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発運動が全国的に推進される「危険物安全週間」に合わせて、新潟県と共催で週間行事を実施します。

平成30年度の「危険物安全週間」は、6月3日(日)から6月9日(土)です。

オ 地下タンク等定期点検事業者認定等事業

全危協との委託契約に基づき定期点検事業者関連業務を実施します。

① 地下タンク等及び移動貯蔵タンク定期点検関係
・点検済証交付業務
・定期点検事業者認定、再認定業務

② 地下タンク等及び移動貯蔵タンク認定事業者実態調査

③ 地下タンク定期点検技術者講習会(全危協が当県で5年毎に開催)業務

(2) その他事業

ア 表彰事業

危険物安全功労者等を表彰することによって、危険物の安全管理体制の整備促進及び安全意識の普及

啓発を図ります。

① 当協会の優良事業所等表彰事業は例年通り実施し、表彰式は第1回理事会、臨時評議員会と同日に開催します。

② 関危連表彰、全危協表彰、保安功労者等知事表彰及び消防庁長官表彰は、例年どおり行われます。

(3) 諸会議の開催等

臨時評議員会、第1回理事会、優良事業所等表彰式及び懇親会は、5月22日(火)に「ラマダホテル新潟」で開催します。

各会議の実施回数は下記のとおりです。

理事会	3回
評議員会	2回
監事会	1回
正副理事長会議	2回
総務運営委員会	2回
事務局会議	2回
受験準備講習講師打合せ会議	1回
保安講習講師打合せ会議	1回
企業・協会専任講師会議	1回

※理事会及び評議員会のうち1回は、書面による開催とします。

第2号議案 平成30年度収支予算書案の承認について

収支予算案の概要

(経常収益) 34,903千円
(経常費用) 36,115千円 差引△1,212千円

うち公益目的事業

(経常収益) 26,389千円
(経常費用) 29,971千円 差引△3,582千円

平成30年度の資金調達及び設備投資の見込については、どちらも予定はありません。

第3号議案 平成30年度臨時評議員会の招集について

転勤等により辞任された評議員の後任評議員の選任及び改選期を迎える理事の選任並びに平成29年度事業及び決算状況について報告するため、平成30年5月22日(火)に臨時評議員会を開催します。

第4号議案 総務運営委員の委嘱について

地区支会から8名の委員が推薦され、委嘱します。

地区支会名	氏名
村上	木村 浩一
新潟	高橋 秀松
五泉東蒲原	鈴木 進
長岡	江畑 正人
小千谷	米岡 良太
南魚沼	高橋 和彦
柏崎	小林 正雄
上越	小林 隆浩

第5号議案 新事務局長選任の承認について

新事務局長として 古俣 修 氏を選任します。

第6号議案 規程の一部改正について

旅費規程の一部を改正します。

事業計画書、収支予算書は、協会ホームページに掲載します。

受験準備講習会に参加しませんか!!

危険物取扱者試験乙種第四類 受験準備講習会は、平成30年度も昨年度同様に受験対策に重点を置いた講義内容とし、また受講者の参加しやすさにも配慮して開催いたします。(詳細な日程等は、8ページを参照してください。)

講習会で受講者をお願いしているアンケート調査結果について

アンケート調査の項目は殆ど選択式としていますが、講習会の総合的な評価となる「受験勉強の参考となるよい講習会だった」という項目については94%の方が選択されており、大変良い評価をいただきました。

試験に合格するためには覚えなければならないことも多いので講習会後の効率的な自習が不可欠ですが、このために必要な「試験に重要な部分」が解った方の割合は三科目平均で82%となりました。一方、「今後の自習への自信が持てた」方の割合は三科目平均で55%となり、平成28年度の調査結果より約3%低下しました。

受験を終えた方への聞き取り調査結果

協会では、試験終了後に一部の講習参加者にたいして、試験の可否や自習実施状況等について聞き取り調査を行っています。

協会では「今後の学習の進め方」を配布して、試験日までの間しっかり自習をしなければ合格できないことや自習方法についても説明していますが、不合格だった方はほとんど「自習は何もしなかった(出来なかった)」、「今後の学習の進め方に従わなかった」という方でした。また、試験を終えて改めて講習会の改善点についてお聞きしていますが、殆どの方から「特にない」という回答をいただきました。

協会としては今後とも「試験対策に徹した講習」となるよう、出題傾向を念頭に置き、試験の重点項目を示すとともに、プレゼンテーションソフトを利用した視覚資料も活用しており、メリハリのある講習を行ってまいりますので、危険物取扱者の養成にお役立てください。

また受講のお申し込みは簡単なインターネット受付をご利用ください。スマホからでも申し込みます。

DVDをお貸しします!!

～社内教育にお役立てください～

地区支会・地区協会の会員の皆様に、(一財)全国危険物安全協会が平成21～28年度の「危険物取扱者保安講習会」用に作成したDVDを貸し出したします。

DVDのリストやお申し込み方法など、詳しくは当協会のホームページの「DVD貸出のご案内」をご覧ください。

賛助会員の御紹介

～賛助会員募集中～

当協会は、社会公共の安全に寄与するため、危険物実務研修会等を通じて防災意識を普及啓発すると同時に、危険物取扱者保安講習や資格取得を目指す方々を対象とした講習会等の公益目的事業を展開しています。

当協会ではこの目的に賛同し、活動に協力して下さる賛助会員を募集しています。賛助会員の皆様には「協会だより」等をお送りするほか、ホームページ及び協会だよりでご芳名等を紹介させていただきます。また、賛助会費は寄附にあたり、税制上の優遇措置もあります。詳細は当協会のホームページをご覧ください。

現在の賛助会員の内、法人会員は次の3社(五十音順、敬称略)です。

<p>(有) エステック 〒950-2023 新潟市西区小針1502番地3 電話：025-230-7007 Fax：025-230-7009 地下タンク等定期点検認定事業者 移動貯蔵タンク定期点検認定事業者</p>	<p>(有) オイルメンテナンス新潟 〒950-0063 新潟市東区上王瀬町1番50号 電話：025-279-0050 Fax：025-279-0051 地下タンク等定期点検認定事業者 http://e-abura.jp/</p>	<p>(株) 羽生田 〒948-0036 十日町市川治2116番地1 電話：025-757-8511 Fax：025-752-4855 地下タンク等定期点検認定事業者</p>
---	--	---

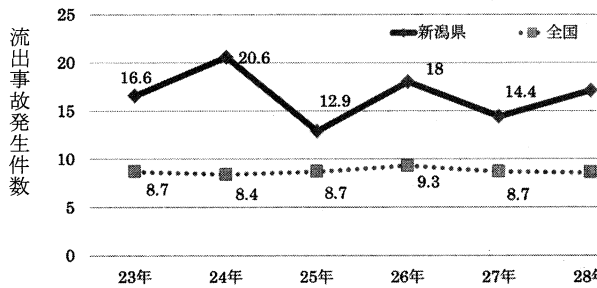
危険物施設からの流出事故を無くそう！

新潟県防災局消防課

新潟県では危険物施設での流出事故割合が高い状態が続いています。一昨年から消防庁では危険物施設における火災・流出事故に係る深刻度評価指標(平成28年11月2日付け消防危第203号参照)を策定し、危険物の事故程度を火災と流出別に、さらにそれぞれの影響内容別に4段階にランク付けをすることとされました。その影響内容指標のうち「深刻度レベル1」に一つでも該当する事故であれば、重大事故と判定されます。流出事故ではその内容に流出範囲があり、「河川や海域に危険物が流出する等、事業所外へ広範囲に流出」とすると「深刻度レベル1」となり、重大事故になります。液体の危険物が一旦漏洩すると、簡単に河川等に流出してしまい、重大事故となってしまいます。また、地下に埋設された配管やタンクから液体の危険物が流出すると、地下水の状況により広範囲にその影響が及ぶ場合があります。特に地下に埋設された配管等は、目視による点検が困難なことから、より一層の日常の在庫管理や入念な防食対策が必要です。



- ・問題点
 - 埋設配管の溶接部で配管が交差、接触していた。
 - 使用量のみ把握していたが、タンク在庫量を確認していなかった。(被害の拡大)
- ・対策
 - 配管間隔は余裕を持って配置する。
 - 埋設は、碎石を除いた山砂で十分締め固める。
 - 溶接部分はピット内に収め、点検できるようにする。
 - 毎日タンクの在庫量を確認する。



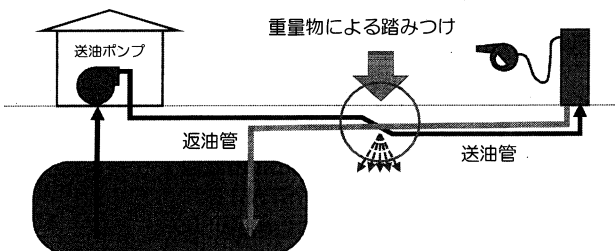
- 2 移動タンク貯蔵所での灯油荷積み中の流出事故
- ・事故概要
 - 移動タンク貯蔵所上部マンホールから注入管を使用せず灯油を注油し、運転席の伝票を探すため3～4分その場を離れた際にノズルがマンホールから外れ、灯油約790リットルを流出させた。

流出事故事例

1 地下埋設のPLS管(ポリエチレンライニング鋼管)溶接部の腐食例

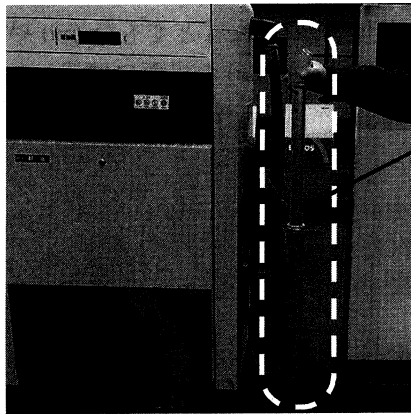
・事故概要

冬期間積雪により車両が入れない地下タンク貯蔵所で、シーズン終了後の在庫量が使用量と合わないため、調査したところ、送油ポンプから給油設備へ至る送油管(PLS管)の溶接部に腐食口が認められた。(軽油1,200L流出)



- ・問題点
 - 注油中にその場を離れた。
 - 注入管(※)を用いなかった。
- ・対策
 - その場を離れない。
 - 注入管を用いる。
 - 注入ノズルのオートストップを過信しない。

※ ガソリン、ベンゼン、特殊引火物、第一石油類、第二石油類等の静電気による災害が発生するおそれのある液体の危険物を移動貯蔵タンクにその上部から注入するときは、注入管を用い、先端をタンク底部につける。(危険物の規制に関する政令第27条第6項第4号ホ)



注入管

流出事故防止

鋼材は腐食するものです。樹脂で覆った鋼管(PLS鋼管)も溶接部分は通常の鋼管と変わりませんし、

実際にその部分の腐食による流出も発生しています。危険物の規制による政令第9条第1項第21号ホでは「配管を地下に設置する場合には、配管の接合部分(溶接その他危険物の漏えいのおそれがないと認められる方法により接合されたものを除く。)について当該接合部分からの危険物の漏えいを点検することができる措置を講ずること。」と規定されていますが、溶接部分も容易に点検ができるようにピット等に収めておくことと安心です。また、埋設する距離によってはトレンチ内に敷設することも腐食防止対策及び日常点検に有効です。

なお、PLS鋼管でも碎石が混じった砂で埋め戻すと、転圧やその後の荷重によって碎石が被覆樹脂を傷つけ、その部分から腐食してしまいます。

危険物を取扱う機器は故障するまで使うものではありません。新潟県の資料でも、設置後20年を経過すると腐食による流出事故が多くなっています。飛行機のように計画的に機器の更新をしていきましょう。

また、日常の在庫管理、目視点検によって事前に異常を確知して被害の拡大を防ぐことが重要です。適正な施工管理とこまめな在庫管理、日常の点検により事故防止及び流出による被害の拡大を防ぎましょう。

依然高い違反率 違法改造ノズルを一掃しよう!!

移動タンク貯蔵所等の立入検査結果がまとまる

県内で平成29年11月を中心に行われた移動タンク貯蔵所等の立入検査結果について、平成30年1月26日付けで新潟県防災局消防課長から通知があり、地区支会・地区協会会員に対し、適正な維持管理及び基準遵守の徹底を図って危険物輸送中における保安を確保することを周知するよう依頼がありました。検査結果によれば、基準不適合率は平成28年度より低下したものの、依然として全国より高い状況が続いています。危険物の移送又は運搬中の事故は、道路交通や周辺住民に及ぼす影響が大きく、重大な事故の発生も懸念されます。

不適合件数が多い項目は下記のとおりですが、「その他設備の基準不適合」が極めて多く、その約6割が、昨年この記事や、保安講習会でも大きく取り上げて注意喚起していたにもかかわらず、灯油等の配達に使用する小型ローリーの注入ノズルの基準違反(開放の状態でも固定できるように改造)でした。また、無許可車両数も15と激増しましたが、その殆どが同じく小型ローリーの「注入ホースの無許可変更(継ぎ足し等)」でした。

- ・その他設備の基準不適合 50件
- ・完成検査済証等備え付け 23件
- ・定期点検に係る義務違反 22件
- ・消火器の未設置等 22件

移送、運搬に携わる方は、再度以下の点の徹底をお願いします。

- ・危険物施設の構造、設備を変更する場合は、手続きが必要です。疑義がある場合は必ず消防機関に問い合わせること。
- ・ミニローリーの注入ホースの先端部のノズルは、開放の状態でも固定することができない構造とする必要があります。(違法改造をした関係者、及びその施設を使用した者の両者が、危険物取扱者免状の減点対象となります。)
- ・確実な定期点検を行って、消火器などの資器材の整備や、設備の点検・修理を行う。

最近3年間の立入検査実施車両数及び基準不適合車両数の推移

年 度	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所							危 険 物 運 搬 車 輻								
	実施車両数		基準不適合車両数		無許可車両数		不適合率 (%)	実施車両数		基準不適合車両数		認識状況不良車両数		不適合率 (%)		
	県	全国	県	全国	県	全国		県	全国	県	全国	県	全国	県	全国	
平成27年度	608	22,459	122	3,895	0	41	20.1	17.5	7	574	2	60	0	1	28.6	10.5
平成28年度	633	23,153	129	3,966	6	28	21.3	17.3	3	550	1	71	0	4	33.3	12.9
平成29年度	583	23,220	130	3,674	15	67	24.9	16.1	7	542	1	56	0	2	14.3	10.3

村上・岩船地区支会

平成29年度村上・岩船地区支会啓発活動

危険物安全協会村上・岩船地区支会では、危険物安全週間事業として、協会員1名と消防職員2名の合同で村上市内の危険物施設巡回パトロールを実施しました。村上市山北地区と朝日地区の給油取扱所を中心に7危険物施設に対して訪問し、取扱い従事者へ危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を行い、安全週間のPR及びポスター、チラシ、小冊子を配布しました。

また、消防本部職員による危険物施設の立入検査を、一般取扱所及び地下タンク貯蔵所等の10事業所19危険物施設に対して実施し、施設の保全管理等を呼びかけました。併せて危険物施設の老朽化に伴う流出事故等が増加傾向であることを踏まえ、施設に対する早めの対策を講じるよう呼びかけました。

平成29年5月には瀬波温泉で村上市消防本部救急

隊員を講師に、「救急法（AED）講習会」を開催しました。この講習会では、救急車が到着するまでの間、傷病者のそばに居合わせた人が行う心肺蘇生法やAEDの使用方法を中心に指導しました。

講習会の参加者からは、「とても分かりやすい説明だった。実際にそのような場面に遭遇したら積極的に行動していきたい。」との感想をいただきました。



小千谷地区支会

火災予防運動期間中の広報活動

平成29年11月9日から15日までの秋の火災予防運動に伴い、小千谷市消防本部主催の「消防フェスティバル」が11月13日(月)、イオン小千谷店で開催されました。小千谷地区支会では、支会役員が参加し広報活動を実施しました。

消防フェスティバルは小千谷市幼少年防火委員会に所属する幼稚園と保育園、婦人防火クラブ、防火管理協会、危険物安全協会小千谷地区支会、消防団等が火災予防の広報を実施するイベントです。多くのお客様が見守る中、105名の参加者によりイオン小千谷店内において防火パレードを実施、小千谷のゆるキャラ「よし太君」、県防災局消防課からは「トッキッキ」にもお手伝いいただきました。また園児による遊戯発表や参加者による防火チラシの配付、屋外駐車場では消防車両の展

示、濃煙ハウス体験、風船飛ばしなども行われました。

今後も消防機関と連携を図りながら、安全対策、自主保安体制の大切さを広報し、危険物の事故防止に努めていきたいと思ひます。



平成30年度「危険物安全週間推進標語」入選作品

(敬称略)

○最優秀作 (消防庁長官賞)

この一球届け無事故へみんなの願い
神奈川県横浜市 市原 政光

○優秀作 (一般財団法人全国危険物安全協会理事長賞)

無事故へと取り組む姿勢に妥協なし
徳島県阿南市 遠藤 吉徳

平成30年度 危険物取扱者保安講習日程 (ご案内)

危険物取扱者免状所有者で、製造所等において現に危険物の取り扱いに従事されている方は、3年に1回保安講習の受講が消防法で義務づけられています。

当協会では、平成30年度も新潟県知事から委託を受けて、次のとおり保安講習を開催いたしますので、お持ちの危険物取扱者免状を確認され、受講期限内に忘れずに受講してください。

事業者におかれましては、従業員の受講状況を確認されて計画的に受講されますようお願いいたします。

詳しくは別途発行しております「保安講習のお知らせ」又は協会HPをご覧ください。

なお、1月1日発行の協会だよりで、佐渡の会場が変更となる予定であるとしていましたが、従来通りの会場で開催いたします。

「保安講習受講案内」、「受講申請書」は、消防本部（署）、当協会、各地区支会・地区協会事務局に用意してあります。

平成30年度 危険物取扱者保安講習会日程

講習日	講習会場	講習種別			定員	受講申請 受付期間	講習会場所所在地
		一般 (その他)	給油 取扱所	コンビ ナート			
6月15日(金)	新潟テルサ	午前			140	5/11～5/25	新潟市中央区鐘木185-18
		午後			140		
6月21日(木)	アミューズメント佐渡	午前			120	5/17～5/31	佐渡市中原234-1
		午後			120		
6月22日(金)	あゆす会館	午前			120		佐渡市小木町1949-2
6月26日(火)	糸魚川建設会館	午前			84	5/22～6/5	糸魚川市南押上3-3-36
		午後			84		
6月28日(木)	上越人材ハイスクール	午後			120	5/24～6/7	上越市高土町3-1-15
6月29日(金)		午前		午後	各120		
7月3日(火)	長岡新産管理センター	午前			108	5/29～6/12	長岡市新産2-1-4
		午後			108		
7月5日(木)	新潟テルサ	午前		午後	各140	5/31～6/14	新潟市中央区鐘木185-18
7月10日(火)	新発田市生涯学習センター	午前	午後		各180	6/5～6/19	新発田市中央町5-8-47
7月18日(水)	燕三条地場産センターメッセピア	午前	午後		各150	6/13～6/27	三条市須頃1-17
7月20日(金)	十日町地場産センタークロス10	午後			150	6/15～6/29	十日町市本町6
7月30日(月)	新潟テルサ	午後	午前		各140	6/25～7/9	新潟市中央区鐘木185-18
8月23日(木)	村上市民ふれあいセンター	午後			135	7/19～8/2	村上市岩船3270
8月29日(水)	新潟テルサ	午前			140	7/25～8/8	新潟市中央区鐘木185-18
		午後			140		
9月4日(火)	長岡新産管理センター	午前	午後		各108	7/31～8/16	長岡市新産2-1-4
9月6日(木)	柏崎エネルギーホール	午前			120	8/2～8/16	柏崎市駅前2-2-30
		午後			120		
9月11日(火)	南魚沼市ふれ愛支援センター	午後			150	8/7～8/21	南魚沼市坂戸399-1
9月14日(金)	糸魚川建設会館	午前			84	8/9～8/24	糸魚川市南押上3-3-36
		午後			84		
9月25日(火)	上越人材ハイスクール	午後			120	8/21～9/4	上越市高土町3-1-15
9月26日(水)			午前	午後	各120		
10月2日(火)	新潟テルサ	午前		午後	各140	8/28～9/11	新潟市中央区鐘木185-18
10月22日(月)	小千谷市総合福祉センターサンラックおぢや	午後			150	9/18～10/1	小千谷市大字桜町5140
11月2日(金)	新発田市生涯学習センター	午後			180	9/28～10/12	新発田市中央町5-8-47
11月6日(火)	新潟テルサ	午前	午後		各140	10/2～10/16	新潟市中央区鐘木185-18
11月9日(金)	長岡新産管理センター	午前			108	10/5～10/19	長岡市新産2-1-4
		午後			108		
11月15日(木)	燕三条地場産センターメッセピア	午後			150	10/11～10/25	三条市須頃1-17
11月21日(水)	上越人材ハイスクール			午後	120	10/17～10/31	上越市高土町3-1-15
11月22日(木)		午前		午後	各120		
2月13日(水)	新潟テルサ	午前			140	1/9～1/23	新潟市中央区鐘木185-18
		午後			140		
2月14日(木)		午前		午後	各140		

〈午前の講習〉受付時間：9時00分～9時30分 講習時間：9時30分～12時30分

〈午後の講習〉受付時間：1時00分～1時30分 講習時間：1時30分～4時30分

**受付期間が経過した後でも定員に達していない場合は、受け付けます。
協会ホームページの「受付状況」をご覧ください。**

降雪期の開催は、新潟市の2日間のみです。十分留意されて、計画的に受講してください。

合格への近道

平成30年度 危険物取扱者試験乙種四類 受験準備講習(ご案内)

危険物取扱者試験乙種第四類の受験予定者を対象とした「受験準備講習会」を次のとおり開催します。講習会では、受講生の要望である「試験対策に徹した講習」となるよう、重点事項を示してポイントを絞った内容とし、また豊富な例題が収録されている「例題集」も適宜解説しながら、わかりやすく説明しています。

講習会は、2日間で修了する開催と、1日で修了する開催がありますが、受講料等はどちらも同額です。なお、受講のお申込みは、書面(受講申込書)の他、インターネットでも簡単に行えます。詳しくは、「受験準備講習会受講案内」又は協会HPをご覧ください。

(「講習案内」、「受講申込書」は、当協会、各地区支会・地区協会(消防本部)に用意してあります。)

平成30年度 危険物取扱者試験乙種第四類受験準備講習日程

Table with 6 columns: 講習日, 講習会場, 定員, 申込受付期間, 講習会場所所在地. Rows list various dates and locations for the training sessions.

講習時間 2日講習の場合 1日目 午後1時30分～午後4時30分(基礎物理/基礎化学) 2日目 午前9時30分～午後4時30分(燃焼消火/性質等、関係法令) 1日講習の場合 午前9時30分～午後6時30分(基礎物理/基礎化学、燃焼消火/性質等、関係法令) (1日講習は、4月25日(長岡市)、10月6日(上越市)、10月14日(新潟市)の3回のみです。)

受付期間が経過した後でも定員に達していない場合は、受け付けます。協会ホームページの「受付状況」をご覧ください。

《参考》平成30年度 危険物取扱者試験日程

(一財) 消防試験研究センター 新潟県支部

Table with 5 columns: 試験日, 受付期間(電子申請, 書面申請), 試験の種類, 試験実施地. Rows show exam dates and locations for different years.

「受験」の申込先は、(一財) 消防試験研究センター新潟県支部 (025-285-7774) です。 (「試験案内」、「試験申込書」は、消防本部(署)、県防災局消防課、受験申込先に用意してあります。)